

国語 第1学年 すきなところをつたえよう

検討会の想定問答

指摘 1: この単元で身に付けることは何か。

返し: スイミーの行動や場面の様子を確かめ、好きなところを自分の経験や見聞きしたものと結び付けて伝える。協力の教訓を全員に言わせず、児童がどの場面をどんな理由で選んだかを大事にする。C(1)オ・C(1)カの学習として、好きなところの紹介カード。選んだ場面、好きな理由、思い出したこと、友達から聞いた感想を記す。

指摘 2: 何をもって学習できたと判断するか。

返し: おおむね満足できる状況は、場面の内容と自分の経験を結び付けて感想をもち、好きなところを友達と共有しているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。C(1)オ・C(1)カの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3: 活動が楽しいだけで終わらないか。

返し: 好きなところの紹介カードを残す。選んだ場面、好きな理由、思い出したこと、友達から聞いた感想を記す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、C(1)オ・C(1)カに関わる学習の中身を確かめる。

指摘 4: 難しさのある児童にはどんな支援をするか。

返し: 最後の場面だけが好きと言わなければならないと思う。本文にない出来事を体験談から足す。これについて、選んだ場面の言葉を確かめ、本文での出来事と自分の経験を分けて話す。直接の経験がない児童は絵本や読み聞かせて見聞きしたものと結び付けてよい。〔知識及び技能〕(1)クとC(1)オ・C(1)カを切り離さず扱う。

指摘 5: 考えが違ったときはどう扱うか。

返し: 教師の結論を選ばせず、「好きだと思ったのは、どの場面ですか。そこを読むと、自分が経験したことや見たことの何を思い出しましたか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、C(1)オ・C(1)カに関わる根拠を話し合う。

指摘 6: 本時の評価で態度まで決められるか。

返し: 本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7: 端末がない学級でもできるか。

返し: 好きなところの紹介カードは紙に記録できる。選んだ場面、好きな理由、思い出したこと、友達から聞いた感想を記す。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をC(1)オ・C(1)カの評価の代わりにしない。

指摘 8: 時間が足りないとき、どこを残すか。

返し: 総時数の出典は東京書籍の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。C(1)オ・C(1)カで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9: 協力することが大事だというまとめにするのか。

返し: C(1)オ・カは内容と経験を結び付けた感想と共有を扱う。本文を根拠にした多様な好きなところを認め、教訓を同じ言葉で答えることは求めない。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「好きだと思ったのは、どの場面ですか。そこを読むと、自分が経験したことや見たことの何を思い出しましたか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。C(1)オ・C(1)カに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

